

田町愛宕神社神像等確認調査報告

- 【日 時】 令和元年5月23日 15:30~16:30
【調査・立会】 愛宕神社総代、文化課須賀・浅田
【目 的】 田町愛宕神社に所蔵されている神像について確認・調査。
宮司、総代のご協力により調査することができた

1、調査で確認した資料

(1) 愛宕大神像

- ・愛宕神社の拝殿に祀られた神像。
- ・雲・波型の台座の上に馬にまたがり甲冑を身に着け、左手に宝珠、右手に錫杖をもった神像。
- ・台座裏には手が異なる「正（勝）軍地藏」「愛宕大神」と墨書あり。
- ・像には彩色が施される。
- ・高さ46.5（像のみ33.0）×幅17.0×奥行23.0cm

(2) 金属製御幣

- ・神像と共に祀られている大・小の2種を確認
- ・神号と「實誉」「元禄元年 下総佐倉城内 辰霜月吉日 別當 圓正寺」と彫られている。

(3) その他神像

- ・愛宕大神像のほか、5つの像を確認。
- ・愛宕大神像とは異なる台座となっているが4つは共通した雰囲気をもつ。
- ・鹿島大神、客仁大神、八幡大神、春日大神、天照大御神の神像と考えられるが確定はできず。

(4) 天神座像

- ・境内の天満宮に納められた像
- ・もともとは佐倉城内に鎮座していたものであるが、明治38年に愛宕神社に合祀したことを記す墨書板とともに祀られている。

※参考：愛宕神社の変遷

- ・江戸時代 田町門から椎木曲輪にいたる愛宕坂に所在。
別当寺は円正寺であることが「古今佐倉真佐子」に記されている。
- ・明治以降 佐倉城が陸軍歩兵連隊の兵営所になるのに伴い、現在の位置に移される。
明治14年に田町の鎮守を修繕したことを示す文書があることから、早くともそれ以前には現在の位置に移されていたか。このほか、明治39年、昭和27年に神社を修理した記録があり、平成13年に現在のかたちに社務所が増築されている。

2、その他、今後について

- ・今回は、愛宕大神像のみの調査。
- ・毎年、秋祭りの前に準備を行う。
この時であれば、像を一つずつ取り出して清掃するので、それぞれの調査が可能
→総代に調査に入らせてもらう旨を伝え、一体ずつの調査を実施する予定。